



G30につづく新たなプラン



横浜市長 林 文子

横浜市では、G30プランにつづく「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」を策定しました。今回の計画では、分別・リサイクルだけでなく、ごみそのものを減らすリデュース(発生抑制)の取組を積極的に進めることで、ごみ処理に伴う環境負荷の更なる低減を図り、豊かな環境を後世に引き継ぐことを目指します。市民・事業者の皆さまとともに、子供たちが将来に「夢」を持つことのできる社会の実現に取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

スリム
ヨコハマ3R夢プラン

G30のその先へ

ヨコハマ3R夢!

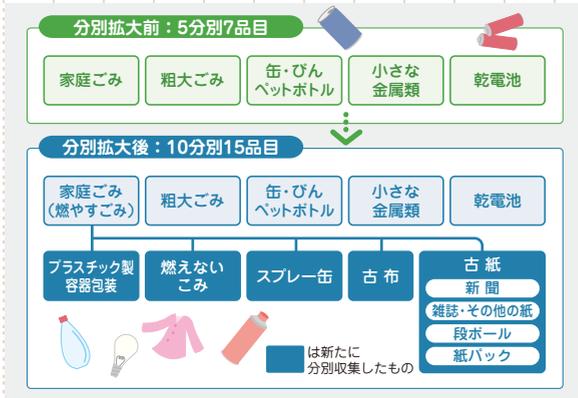
スリム

①これまでのG30は

平成22年度までに、**ごみ量▲30%削減**(対13年度比)を目標に、
市民・事業者の皆さまとの協働のもと、**分別・リサイクル**を進めてきました。

大きなごみ減量の成果

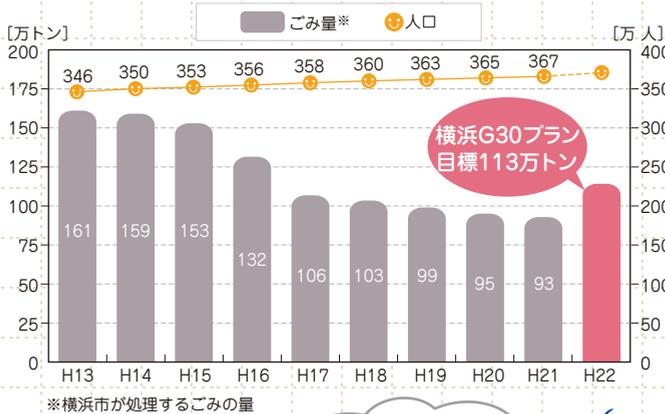
平成17年度に、5年前倒して
▲30%削減を達成
平成21年度には**▲42.2%削減**



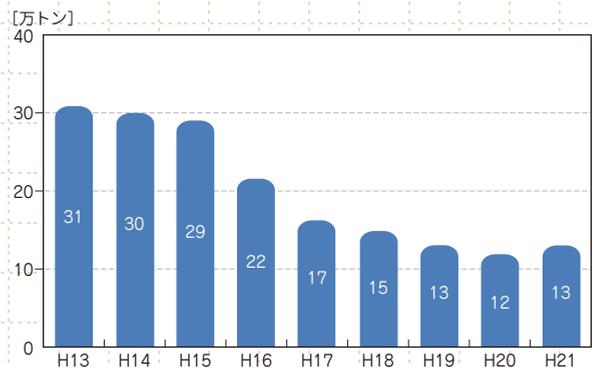
さらにその結果



【ごみ量、人口の推移】



【一般廃棄物埋立量の推移】



人口が増えている中で、
ごみの量を
こんなに減らすことが
できました。



埋立量も着実に
減っています。

これから

ごみとなったものは、焼却処理・埋立処分をしなければならず、今後、埋め立てできる場所は1か所しかありません。

だからこそ! ごみを減らすことで、埋立処分場を長く大切に使う必要があります。

ごみを処理することによって、CO₂などの温室効果ガスが発生します。

だからこそ! ごみを減らすことで、脱温暖化を進めていく必要があります。

② 新たな計画では

2010 2025
計画期間…平成22年度～平成37年度

G30を^{いしずえ}礎に、**分別・リサイクル**はもちろんのこと、ごみの**リデュース(発生抑制)**に取り組み、**温暖化対策・CO₂削減**を進めます。また、ごみ処理の**安心と安全・安定**を追求し、ごみのことで困らない住みよいまちの実現を目指します。

1

もっとチャレンジ・ザ・3R

リデュース
リユース
リサイクル

総排出量(ごみと資源の総量)を**平成37年度**までに**10%以上削減**(平成21年度比)します。

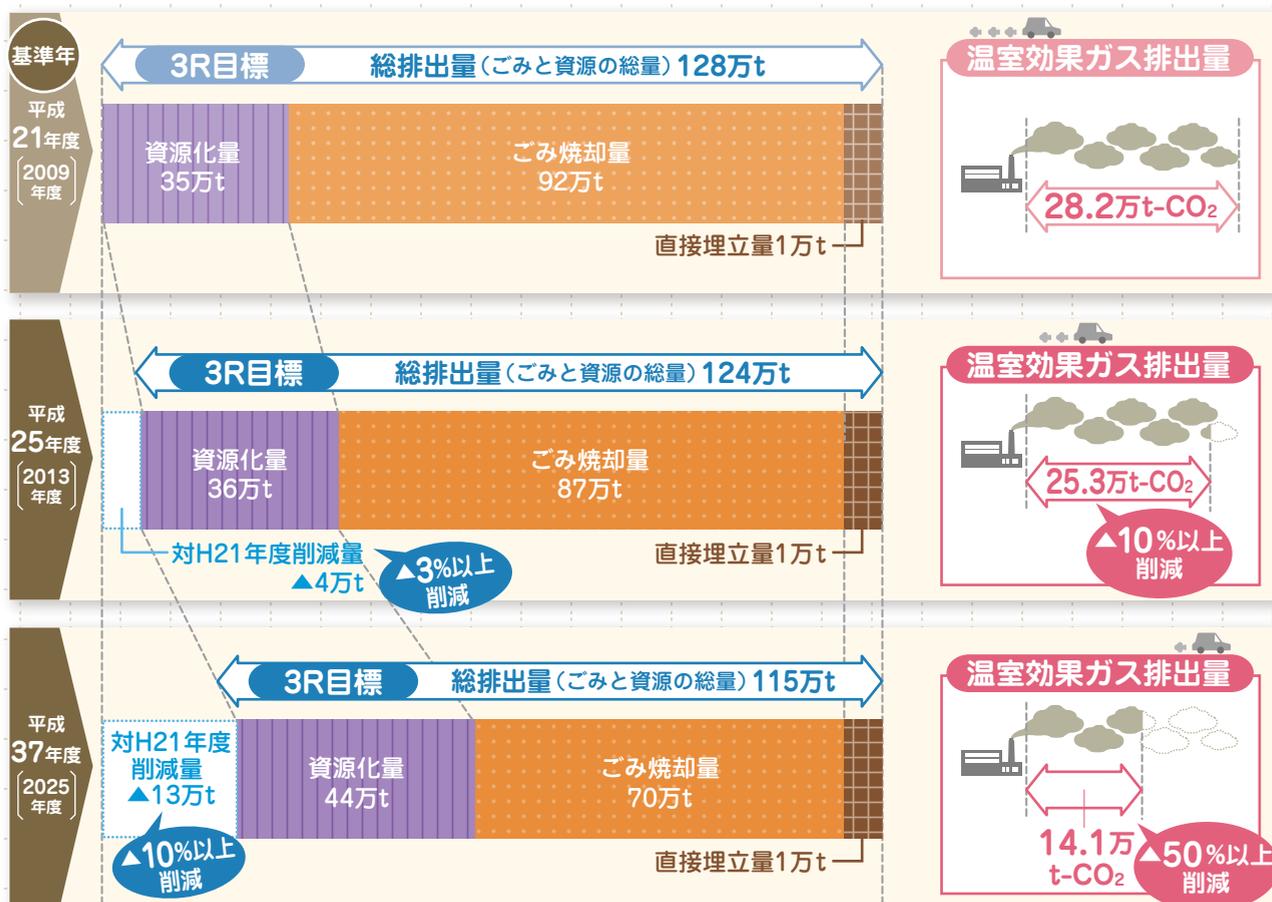
平成25年度までには**3%以上削減**

2

ごみ減量から始めよう脱温暖化

ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスを**平成37年度**までに**50%以上削減**(平成21年度比)します。

平成25年度までには**10%以上削減**



※ごみ処理ならでの温暖化防止対策に取り組むために、地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画制度の算定方式に、ごみ発電による削減効果を加えて、本計画の温室効果ガス削減目標を設定しました。

3

ごみ処理の安心と安全・安定を追求

収集・運搬、処理・処分のすべての段階で、安心と安全・安定を追求します。



これからもきちんと分別。そして、ごみそのものを減らす。リデュースに楽しくチャレンジ。みんながごみを減らせばCO₂だって減らせます。